

祝辞

情報工学科卒業生の皆さん、卒業おめでとう！

本来なら、新築の日吉記念館での全体卒業式のあと、矢上で学科別の卒業式を挙げるはずでした。私も皆さんに卒業証書をお渡しし、全員での記念写真を撮ることを大変楽しみにしていました。しかし、新型コロナウイルス流行のため残念ながら卒業式は中止となってしまいました。

皆さんの多くは2016年4月に入学したと思います。卒業までの4年間で科学技術にどのような発展があったかを覚えていますか。皆さんの入学直前の2016年3月には人工知能囲碁ソフトが世界トップ棋士に4勝1敗と大きく勝ち越し、「ディープラーニング」という技術が注目を集めました。現在も人工知能(AI)の研究が大変盛んになっています。2016年7月には日本のスパコン「京(けい)」がビッグデータ解析で世界1位になりました。現在、京の後継機として「富岳(ふがく)」の開発が進んでいます。富岳は計算速度を追うのではなく、利用しやすさを追究しています。一方、2019年10月にはグーグルが量子コンピュータを発表しました。世界最速のスパコンで1万年かかる計算を量子コンピュータでは200秒で実行したとのこと。通信の世界では第5世代移動通信システム(5G)の開発が進み、日本でもいよいよサービスが始まります。現行の4Gに比べて5Gの通信速度は20倍、同時接続数は10倍、遅延時間は10分の1になります。しかし、このように科学技術が発展する一方、2017年3月には科学雑誌ネイチャーが「日本の科学成果の水準がこの10年で低下し、科学先進国から後れを取っている」という特集が掲載されました。ゆゆしきことです。

皆さんの約2割は社会人となり、約8割は大学院に進学すると思います。社会人となって働く人も、大学院でさらに研究に打ち込む人も、これからの10~15年間で自分の能力を伸ばす上での非常に大事な時期になります。理工学部の4年間で学んだことを基に、自分の能力を伸ばすよう努力してください。そして「日本の科学成果の水準は復活した」と世界に言わしめるようにしてください。

さて、慶應義塾の出身者は人のつながりが強いと言われます。私は修士修了後に企業に勤め、その後大学に戻ってきましたが、様々な場面で慶應義塾出身者の連帯意識を強く感じてきました。個人的にも、大学時代のサークルの仲間や1,2年時の同級生(私たちの時代は3年生になるときに学科分けがありました)としばしば杯を酌み交わしています。皆さんも大学時代に築いた友人との絆を大切にしてください。

最後に、皆さんの卒業を一番喜んでいらっしゃるのはご両親・ご家族のほうです。ぜひご両親・ご家族に卒業の報告をし、感謝の言葉を贈ってください。

それでは、皆さんの今後の活躍を祈念し、祝辞といたします。

令和2年3月23日
慶應義塾大学理工学部情報工学科 主任
寺岡文男